

業績ハイライト

(単位：億円)

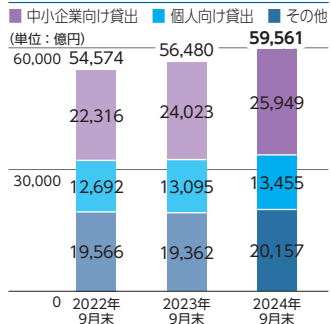
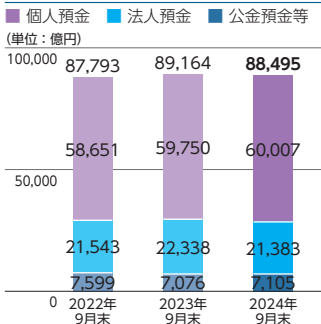
	2022年 中間期	2023年 中間期	2024年 中間期	前年同期比
経常収益	545	666	770	104
コア業務純益	209	243	318	75
経常利益	195	248	284	36
中間純利益	130	175	199	24

預金・譲渡性預金残高

8兆8,495億円

貸出金残高

5兆9,561億円

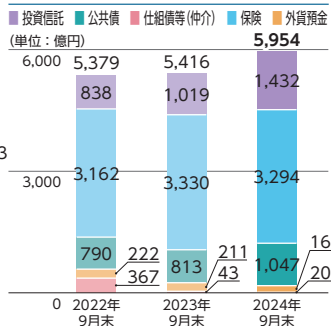
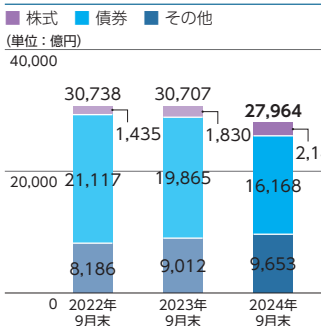


有価証券残高

2兆7,964億円

預り資産残高

5,954億円



自己資本比率(国内基準)

10.83%

格付け

日本格付研究所(JCR) AA 格付投資情報センター(R&I) A ムーディーズ(Moody's) A3 (2024年9月末現在)

当行の概要

(2024年9月30日現在)

名称……………株式会社七十七銀行	資本金……………246億円
英文名称……………The 77Bank, Ltd.	従業員数……………2,536人
本店……………仙台市青葉区中央三丁目3番20号	店舗数……………144(本支店138、出張所6)
創業……………1878年(明治11年)12月9日	総資産……………10兆3,317億円

株式情報

株式の状況(2024年9月30日現在)

- 発行済株式総数 76,655千株
- 株主数 17,439名

大株主の状況

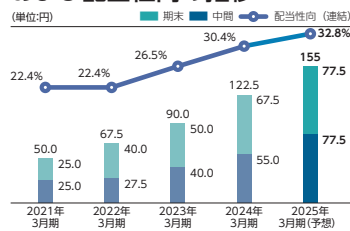
(2024年9月30日現在)

氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,346	12.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,457	7.29
明治安田生命保険相互会社	3,407	4.55
住友生命保険相互会社	3,082	4.11
日本生命保険相互会社	2,623	3.50

株主還元方針

銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、財務基盤の強化を前提として、累進的配当により、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2025年度までに35%以上に引き上げるとともに、機動的な自己株式取得により、株主利益と資本収益性の向上を目指していく。

1株当たり年間配当金および配当性向の推移



株主優待のご案内

「地元特産品」「寄付金」「ギフトカード」のいずれか一つをお選びいただけます。

詳細についてはこちらよりご覧ください。



株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当の基準日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 なお、臨時に基準日を定める必要のある時は、あらかじめ公告をもってお知らせいたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、仙台市において発行する河北新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社本店

※2025年1月1日以降、株主名簿管理人および同事務取扱場所は、三井住友信託銀行株式会社に変更となります。

当行ホームページ内「株主・投資家の皆さま」に詳しい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.77bank.co.jp/kabunushi.html>



77 BANK

2024 MINI-DISCLOSURE

七十七銀行 ミニディスクロージャー誌
第141期営業のご報告

中間期版

Vision
2030[®]
未来を切り拓くリーディングカンパニー

ごあいさつ

平素より七十七銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、日本経済は、好調な企業業績や雇用・所得環境の改善などに支えられ、全体として緩やかな回復の動きとなりました。今後は政治経済情勢や地政学リスクなどによる下押しリスクはあるものの、脱炭素・デジタル関連投資に加え、個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復を続けるものと見込まれます。

宮城県内におきましては、世界最先端の次世代放射光施設「ナノテラス」の稼働や「せんだい都心再構築プロジェクト」など、複数の地域開発プロジェクトが進展し、更なる経済活動の成長が期待されています。

国内、県内の景気とも回復傾向にある一方で、仕入れ価格の高騰、物価高、人手不足といった懸念材料もあり、景気の下押し要因には十分に注視していく必要があると考えております。

このようななか、2030年度までの10年間を計画期間とする「[Vision 2030] ~未来を切り拓くリーディングカンパニー~」がスタートして3年半が経過しました。本部・営業店・グループ会社一体でのコンサルティング営業体制の構築や生産性の向上、専門人材の育成などに継続的に取り組んできた結果、従来よりも筋肉質な経営となり、攻守ともにレベルアップが図られたと感じております。引き続き、七十七グループの収益向上に向けた取組みをより一層加速させるとともに、地域や市場からの評価を高めていくため、資本収益性の向上など資本効率を意識した経営に努めてまいります。



取締役頭取

小林 英文

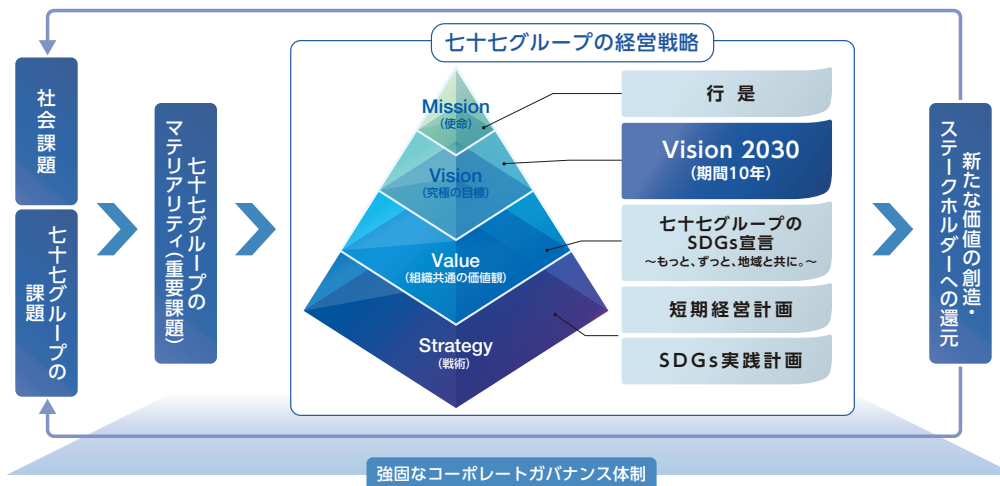
2024年12月

七十七グループでは、今後とも、長期的に目指す「なりたい姿」の実現に向け、金融サービスの充実と非金融分野における事業領域の拡大等により、地域社会の繁栄のため、ステークホルダーとともに、宮城・東北から活躍のフィールドを切り拓いていく「リーディングカンパニー」を目指してまいります。

「Vision 2030」

~未来を切り拓くリーディングカンパニー~

行是に記した経営理念（使命）を実現していくために、未来の七十七グループの姿を描き、グループ役職員が一丸となって前進する羅針盤となるもの、それが「Vision 2030」です。



財務基盤の強化

	2023年度実績	2030年度 なりたい姿
当期純利益(連結)	298億円	450億円
ROE(連結)	5.38%	7%以上
自己資本比率(連結)	11.15%	10%程度 (10%~10.5%)
コアOHR	52.18%	40%以下

2030年度の想定するポートフォリオ

貸出金	有価証券	預金+NCD	グループ債が資産残高
6.6兆円	3兆円	9.3兆円	1.2兆円

当行の取組みや財務情報についての詳細は統合報告書をご参照ください。



金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大

金融 × コンサルティング + 非金融

最良のソリューション

宮城・仙台圏のポテンシャルと東北全域等の有力な顧客を結ぶネットワークを構築

宮城・仙台圏 × 東北全域等

活躍のフィールドの拡大

リーディングカンパニー(同じ志を持った者の集団、地域をリードする企業グループ)へ深化

リーディングバンク × Vision 2030

リーディングカンパニー

Topics

▶「[77ソーラーパーク富谷]」の運用開始

当行が所有する未利用地に太陽光発電所を設置した「[77ソーラーパーク富谷]」の運用が2024年10月より開始いたしました。再生可能エネルギー由来の電力を当行本店ビルや一部の店舗等へ供給いたします。本発電所による再生可能エネルギー電力の導入を通じて、CO₂排出削減に寄与するとともに、地域社会におけるカーボンニュートラルの実現や持続的発展に貢献してまいります。



「77ソーラーパーク富谷」の写真

発電出力：約2,000kW

発電量：年間約2,500MWh(一般家庭約800世帯分の年間消費電力量に相当)

想定CO₂排出削減量：年間1,200t-CO₂(杉の木約14万本の植樹と同じ効果)

▶EVカーシェアステーションの設置、EV車の導入

仙台市、パーク24グループと連携協定を締結し、当行二日町支店敷地内にEVカーシェアステーションを設置いたしました。平日は仙台市職員・当行行員の専用として利用し、休日・祝日は広く一般の方にご利用いただけます。また、宮城県内の営業店に営業用車両としてEV車の導入を進めております。EV車の導入を通じて行用車の脱炭素化を図るとともに、環境にやさしい交通手段としてのEV車の普及に取り組んでまいります。



連携協定締結の様子



EVカーシェアステーションの様子